

## 新たな情報開示モデルとIR 成果報告書

2009年2月

### I 研究の課題と視点

序章 新たな情報開示モデル研究の課題と視点

・・・伊藤邦雄（一橋大学） 3

### II 日本企業のディスクロージャーの実態と効果

第2章 日本企業のディスクロージャーの現状

・・・伊藤邦雄（一橋大学）、加賀谷哲之（一橋大学） 15

第3章 ディスクロージャー戦略と企業価値

・・・伊藤邦雄（一橋大学）、円谷昭一（埼玉大学） 29

第4章 IR優良企業と資本コスト ～実効税率と利益の質との関係を踏まえて～

・・・大沼宏（東京理科大学） 43

### III 無形資産・非財務情報のディスクロージャー

第5章 非財務情報の開示と経済効果 ～CSR情報を中心に～

・・・中條祐介（横浜市立大学） 61

第6章 研究開発ディスクロージャーと組織資本

・・・加賀谷哲之（一橋大学） 79

### IV バランスシート・ガバナンスとディスクロージャー

第7章 企業保有現金の評価とディスクロージャー

・・・中野誠（一橋大学） 101

第8章 遊休資産の実態と情報開示

・・・川島健司（法政大学） 113

### V 制度開示の戦略的活用

第9章 アナリスト・カバレッジと経営者の業績予想～予想誤差に焦点を当てて～

・・・野間幹晴（一橋大学） 129

第10章 情報開示の適時性と企業評価

・・・米谷健司（山口大学） 141

第11章 ストック・オプションの実施と株価形成

・・・竹口圭輔（法政大学） 155

終章 結論に代えて

・・・伊藤邦雄（一橋大学） 177

巻末資料 1 日本企業の情報開示担当者に対する意識調査 調査票

2 日本企業の情報開示担当者に対する意識調査 一次集計